

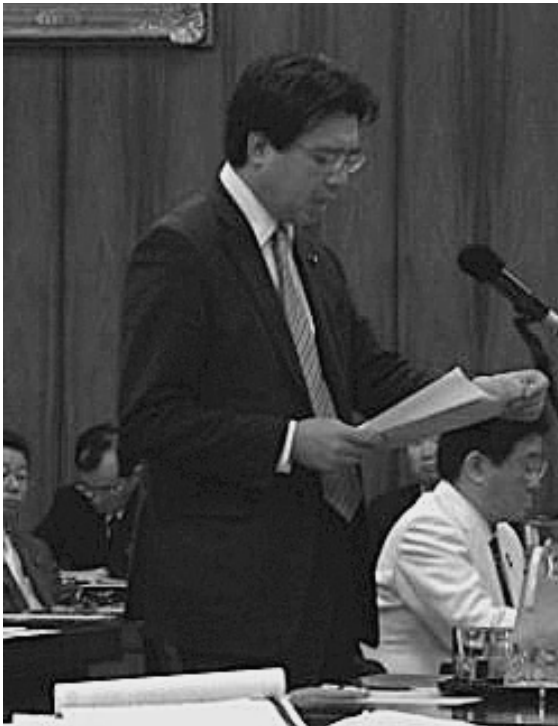


# The Supporters Times



衆議院議員 秋葉賢也 政策・活動レポート

## 緑化版エコポイントの導入を！ － 政府に直談判！ これこそ真のエコ政策だ －



「地球温暖化対策として二酸化炭素の排出を抑えるために、木を植えたらポイントがもらえる『緑化版エコポイント』を作ってはどうか？」

先日、ある方からこのようなご提案を頂きました。

昨年9月、気候変動首脳会合で鳩山首相は、温室効果ガス削減の中期目標として「2020年までに1990年比25%削減」を発表しました。麻生政権の「05年比15%削減（90年比8%削減）」よりも大幅に踏み込んだ内容で、日本には実現に向けて重い責任が課されています。

一体どのように実現するつもりなのか。政府の取り組みは、エコカー減税や家電エコポイント制度など、自公政権から引き継いだ政策がほとんどです。これらは、環境に優しい商品への買い換えを促すという点で景気刺激策の意味合いも強く、ある程度買い換えが済んでしまえば、それ以上の削減効果は望めません。

それに比べて、二酸化炭素の吸収機能に着目した「緑化版エコポイント」制度は、環境に配慮した持続的な効果が期待できるのではないのでしょうか。さらには、良好な景観や、環境意識の向上にも寄与します。

質問主意書で「緑化版エコポイント制度」の検討を政府

に提言したところ、下記のような答弁が返ってきました。引き続き、導入の検討を要請していきたいと思えます。

委員会での質疑や質問主意書など、政府に見解を質す手段や機会が多くあります。「反対ありき」という姿勢からは、プラスは何も生まれません。日本のために真に必要なことは何なのか、この基本を忘れることなく活動してまいります。

衆議院議員

秋葉賢也

### 質問主意書と政府答弁書の概要

- Q 1 緑化率の向上、地球温暖化対策と景気回復の両立のそれぞれの観点から、「緑化版エコポイント」制度をどのように評価するか。
- A 1 エコポイントの付与の方法について、制度の合理性や実効性の確保の観点から十分な検討が必要であると考えます。
- Q 2 「緑化版エコポイント」と同内容の制度導入に向けた検討は既に行われているのか。まだ行っていないのなら、今後検討するつもりはあるか。
- A 2 そのような制度の検討は現在行っていない。民有地の緑化推進のための支援は進めたい。

## Think Globally, Act Locally!

# 平成 22 年度予算が成立！

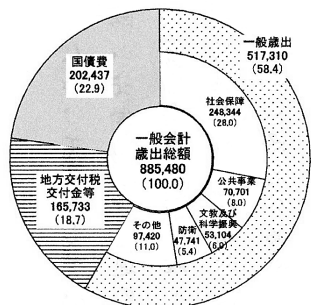
税込見込みを上回る巨額の赤字国債発行は、終戦直後の昭和 21 年度以来です！



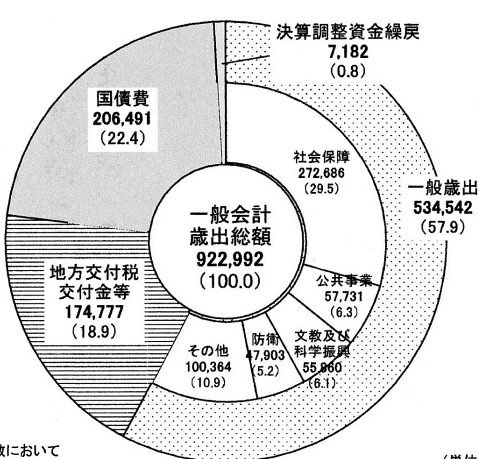
## 【21年度当初予算 → 22年度予算】

- 歳出総額：88.5(100%) → 92.3(100%)
  - 一般歳出：51.7(58.4%) → 53.5(57.9%)
  - 国債費：20.2(22.9%) → 20.6(22.4%)
  - 社会保障関係費：24.8(28.0%) → 27.3(29.5%)
  - 地方交付税交付金等：16.6(18.7%) → 17.5(18.9%)
  - 公共事業関係費：7.1(8.0%) → 5.8(6.3%)
  - 文教及び科学振興費：5.3(6.0%) → 5.6(6.1%)
  - 防衛関係費：4.8(5.4%) → 4.8(5.2%)
- (単位：兆円)

21年度当初



22年度



(注) 計数については、それぞれ四捨五入によっているので、端数において合計とは合致しないものがある。

(単位：億円、%)

バラマキ政策のオンパレード、中長期的な財政見通しの欠如、さらにはあまたのマニフェスト違反予算は、到底容認できません！ 予算案を見ても予算の審議過程を見ても、この国の方向性は不透明です。我々はこれらの問題点を指摘し、予算の組み替え動議を提出して反対しました。次の選挙のための予算ではなく、次の次代のための予算を組む、それが政治家としても責任ではないでしょうか。

## Kenya's Activity 衆議院総務委員会質疑

3月2日

- ① マニフェストにない住民税の扶養控除廃止
- ② ガソリン税の暫定税率の実質継続

「マニフェストは4年間で達成するものだから、私たちは公約違反を続けているという認識は持っていない。是非ともご理解いただきたい。」という、大臣の開き直りとしか言いようのない答弁には本当に腹が立ちます。

3月11日

### 地域主権改革と道州制について

自民党は2017年に「道州制」の実現を掲げていました。民主党の地域主権戦略工程表には道州制が盛り込まれておらず、残念です。分権改革のゴールとして道州制を目指すべきだと提言したところ、「今夏の取り纏めには明記したい」との大臣答弁がありました。この言葉は評価したい！大臣の重たい一言です。

秋葉代議士の質問は、3月12日の朝日新聞朝刊でも取り上げられました！

2010年(平成22年)3月12日 金曜日 京月 日 発行

■出先機関も事業仕分け  
原口一博総務相は11日の衆院総務委員会、国の出先機関の仕事について、行政刷新会議と連携して「事業仕分け」する考えを明らかにした。業務の無駄を洗い出した上で、鳩山政権が掲げる「出先の原則廃止」と地方への業務移管を進める方針を示したものだ。秋葉賢也議員(自民)らの質問に答えた。

出先機関には、国家公務員約31万人のうち約19万人が働く。道路、河川の管理など都道府県の業務と重なる「二重行政」が指摘されている。原口氏は「仕事の中身を今のままにして国から地方に移したところで、それだけ人件費はかさむから、地方は迷惑でたまらない」とし、仕分けで移管業務を絞り込む考えを示した。

民主党のマニフェスト違反  
追及プロジェクト

## 『子ども手当』を検証する



子ども手当導入の代替措置として 16 歳未満の扶養親族に対する扶養控除が、所得税では平成 22 年度から、住民税では平成 23 年度から廃止されることになりました。子ども手当が満額支給されれば、所得税と住民税の配偶者控除も順次廃止される見込みです。

住民税での控除廃止は、マニフェストにも書かれていなかった「負担増」で、明確な公約違反！選挙の時には給付や減税ばかりを強調し、後になって実質的に負担を増やす政府の手法には、納得がいきません！国会論議で厳しく指摘していきます。

### 高所得者ほど有利に!? 控除廃止で負担増も！

平成 22 年度は扶養控除の廃止に伴う負担増はほとんどありません。そこで所得制限のない子ども手当を支給すると、今まで児童手当が支給されていなかった高所得家庭ほど有利になります！また、今後支給額が月額 1 万 3000 円のままであれば、3 歳未満の子供を持つ家庭（現在、児童手当の支給対象の家庭）の場合、扶養控除の廃止に伴う税負担の増加により、逆に負担増になります！



あきばプラン☆ 同じ予算なら、こう使う！

### 地域の実情に応じた保育サービスの充実、幼児教育の無償化（約 7900 億円）、 小学校給食費の無償化（約 4500 億円）、子どもの医療無料化を全国に拡大

悪平等を助長する、所得制限なき子ども手当のバラマキには反対です。子育てを支援するのなら、より低所得者層にメリットの大きい児童手当を拡充するほうが望ましいと考えます。現行の児童手当でも、3 歳未満では 1 人あたり 1 万円、3 歳以上では第 2 子までは 5 千円、第 3 子以降は 1 万円が支給されていました。また、年収およそ 860 万円（被用者の場合）の世帯までは受給でき、支援が必要な家庭はカバーできていたのです。（これまでの児童手当の対象人数は 1239 万人、子ども手当の対象は 1735 万人。）給付の部分でこそ、「選択と集中」をするべきです！所得制限や年齢制限を一層緩和する、所得と手当支給額の関係を見直す、などの児童手当改善案の方が効果が高いのではないのでしょうか。給付総額も、現行児童手当では約 1 兆円で済んでいるのです。

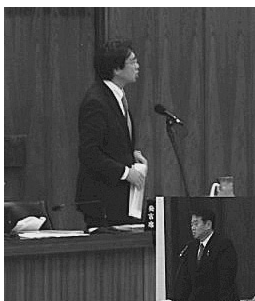
また、現金給付に偏らず、サービスの拡充に力を注ぐべきです。平成 21 年度と平成 22 年度で少子化対策にかかる予算を比較した下の表をご覧ください。注目して頂きたいのは現金給付とサービス給付の比率です。今回の予算編成では現金給付偏重が一層顕著になりました。マニフェスト通り、平成 23 年度に子ども手当が全額国費で満額支給されると、国庫負担額はさらに 4 兆円増え、現金給付とサービス給付の比率は約 9：1 にも及びます！

「同じ予算なら、一層の子育て支援策を！」

子ども手当を減らして児童手当とサービスを拡充、扶養控除は継続！」

	平成 21 年度		平成 22 年度		平成 23 年度
現金給付	4117 億円	→	1 兆 6782 億円	→	約 5 兆 7000 億円？
サービス給付	5638 億円	→	6080 億円	→	約 6000 億円？
総額	9815 億円	→	2 兆 2861 億円	→	約 6 兆 3000 億円？

※ 厚生労働省資料をもとに秋葉事務所作成



### 「高校の給付型奨学金」を取り戻せ！

概算要求では計上されていた「高校生のための給付型奨学金」が、政府案では削られました。私立学校に通う生徒の中には、様々な事情から私立に通わざるを得ない生徒もいます。「広く薄く」給付するのではなく、給付型奨学金を充実させて「意志ある誰もが安心して学べる環境」を作るべきだと考えます！



国政報告会でも疑問の声が多数寄せられました。

ハガキや切手を、是非、カンパ下さい！

# 災害に備えよう

2月27日にチリで発生した大地震では、津波の影響で宮城県でも甚大な被害が発生しました。約半月で、全国の被害総額は61億円、内42億円強は宮城県です。

3月17日の災害対策特別委員会質疑ではこうした被害を踏まえ、①激甚災害への早期指定 ②観測・予測体制の充実強化 ③共済加入の掛け金の見直し ④水門の自動遠隔化の促進 等を取り上げました。被害の現場と震ヶ関では感覚が離れてしまいがちです。また、平時には無駄に思える警戒態勢も、なくしてしまうと「万が一の事態」に対応できません。ソフト・ハードの両面での防災体制充実と現場の感覚に合った対策を政府に要請しました。

# スクラムの集い



秋葉代議士の議員生活も、早15周年。これを記念して、去る2月22日、仙台エクセルホテル東急で「スクラムの集い」が開催されました。ゲストに塩崎恭久代議士を迎えたほか、小泉政権で幹事長を務めた武部勤代議士も応援に駆けつけてくれました。

当日、会場には約450名の方が集まってくださり、大盛況！皆様のあたたかいご支援のおかげで15年間もの間、議員生活を送ることができたのだと思うと感慨深いものがありました。一人一人のお力添えに心から感謝！これからも皆様のことを第一に考えて「現地・現場主義」で取り組みます！



▶日経新聞朝刊に、秋葉代議士が書いた記事が掲載されました！

## 国政報告会のお知らせ

「政治を身近に感じてほしい」  
今月も各地区で国政報告会を実施します。是非、足を運んでみてください！

### 泉 区

日 時 4月16日(金) 19時～  
場 所 寺岡市民センター

### 宮城野区

日 時 4月23日(金) 19時～  
場 所 鶴ヶ谷市民センター

### 若林区

日 時 4月24日(土) 19時～  
場 所 若林区中央市民センター



## 秋葉代議士と語ろう！出張座談会、開催中☆

皆様の「ちょっとした集まり」にお呼びください！いただいたご意見は、どんどん提言してまいります！  
詳しくは仙台事務所（022-375-4477）まで、お気軽にお問い合わせください☆

日 本 経 済 新 聞

2010年(平成22年)3月10日(水曜日)

**交遊抄**

政治家に限らず、自分の心さには頭が下がるばかり、思いをきかれました。

と伝わる方は、私は自ら作詞したブルボンだ、私にバムを2枚出している。とはなにかを教えてください。た、いわば先生が2人、こと小野寺明敏さん。地元のイベント制作会社、GIPの佐藤野村社長の紹介だった。若い仲間が作ってくれた応援歌「スクラム」をCD化してくれたのが始まりだ。

「時そば」「ちり」とで「ちん」などの古調は格品としか言えない。

間の取り方は、朝の街頭演説の参考になる。自信を高めてくれた。なかでもツイストライクは自分で言うのもなんだが、名曲だ。私のボーカルではなく、有吉アチエと思いきや、それぞれのイストが歌えばヒットは言葉で演じたという。日聞道いよいよ。あ本語でも断をそんじらさばらや(秋葉賢也)

**発信力を鍛える**

秋葉 賢也

### ～ kenya's PLOFILE ～



- 昭和37年7月3日宮城県生まれ、47才。
- 角田高校を経て、中央大学法学部卒業、東北大学大学院法学研究科博士課程前期修了。
- (財)松下政経塾卒塾(第9期生 宮城県初)を経て、宮城県議会議員(三期)を務める。
- 総務大臣政務官や自由民主党副幹事長などを経て、現在、衆議院議員三期目。
- 決算行政監視委員会理事、総務委員会委員、災害対策特別委員会委員、党厚生労働部会長代理、新聞出版局次長、情報調査局次長を務める。
- 著書：「地方議会における議員立法」(文芸社)、「東北の夢創造」(ぎょうせい)。
- 趣味：野球、空手などスポーツ、音楽、映画。

### 秋葉賢也事務所

仙台市泉区上谷刈4-17-16  
Tel 022(375)4477  
Fax 022(375)0057

購 読 料 年額6,000円  
編 集 謝アトジャン